



つなく、つながる  
横浜能楽堂  
Yokohama Noh Theater

お手頃価格の2,200円、狂言2曲を解説つきで。

横浜狂言堂  
～テアトルフォンテ編～



狂言「二人大名」(和泉流) 撮影:政川慎治



狂言「清水」(和泉流) 撮影:神田佳明

勝手に決めました  
第二日曜日は  
狂言の日

横浜能楽堂は令和8年6月まで休館中のため、  
今回、横浜狂言堂はテアトルフォンテで開催します。

**日時** 令和7年2月9日(日) 午後1時半開場 午後2時開演

**会場** 横浜市泉区民文化センターテアトルフォンテ ホール

**番組** お話 高野 和憲

ふたりだいみょう

狂言「二人大名」(和泉流)中村 修一

しみず

狂言「清水」(和泉流)高野 和憲

チケット料金 2,200円 (全席指定)

令和6年10月21日(月)正午より

窓口:テアトルフォンテ 受付(9:00~21:00)第3火曜日は休館日

電話:カンフェティ 050-3092-0051(平日10:00~17:00)

WEB:<https://yokohama-nohgakudou.org/ticket/>



お申込み  
チケット

先行  
会員

令和6年10月14日(月・祝)~17日(木) \*初日は正午から

LINE友だち先行 横浜能楽堂 WEBのみ / テアトルフォンテ 窓口のみ(9:00~21:00)

狂言  
とは

今から1200年前に中国からわたってきた芸能が、室町時代に形が整えられ、狂言となりました。ともに発展をとげてきた能が古典文学をとりあげた格調高い芸能であるのに対し、狂言は庶民の日常的なできごとを、笑いを通して表現します。こっけいなセリフや所作(身ぶり)が特徴です。

〈お問い合わせ〉 OTABISHO横浜能楽堂:045-263-3055



主催:横浜能楽堂(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団) 共催:横浜市泉区民文化センター テアトルフォンテ(指定管理者:相鉄企業株式会社)  
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会



お話 高野 和憲

狂言「二人大名」(和泉流)

シテ(大名) 中村 修一

アド(大名) 内藤 連

小アド(使いの者) 飯田 豪

後見 高野 和憲

狂言「清水」(和泉流)

シテ(太郎冠者) 高野 和憲

アド(主) 岡 聡史

後見 飯田 豪

ふたりだいみょう

## 狂言「二人大名」

ある大名がもう一人の大名を誘い、外出をします。しかし、今日は太刀を持たせるお供がないため、通りかかった男に太刀を持たせることにします。威張る大名に腹を立てた男は太刀を振り上げ、大名たちを脅します。

大名たちは、身ぐるみ取り上げたあげく、鬨犬、鬨鶏、さらには起き上がり小法師の真似をさせられますが……。

しみず

## 狂言「清水」

茶会を開くことになった主人は、茶の湯で使う水を野中の清水へ汲みにいくように太郎冠者に命じます。行きたくない太郎冠者は一計を案じ、主人から預かった手桶を隠して、「清水に鬼が出たので手桶を投げつけて逃げ帰ってきた」と報告します。

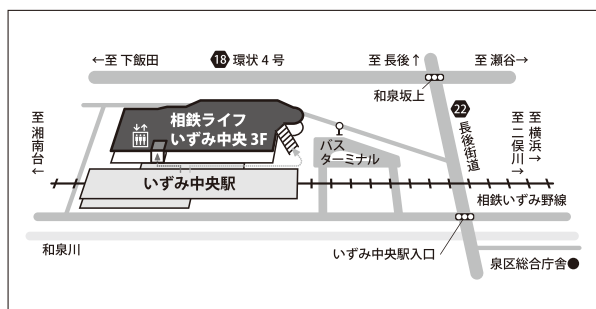
すると、主人が、みずから取り返しに行くと言うので、太郎冠者は先回りして待つことにしますが……。

「二人大名」を演じる中村修一さん、内藤連さんの動画はこちら。  
ぜひご覧いただき、ご来場ください。

若手狂言師の活動の日々を追い、その思いに迫る  
「狂言の未来～第2日曜日を彩る狂言師たち～」シリーズ第3弾

「中村修一・内藤連 職業 狂言師  
～狂言の世界に飛び込んだ二人の未来～」

横浜能楽堂YouTubeチャンネルで公開! ▶



会場: 横浜市泉区民文化センター テアトルフォンテ

〒245-0023 横浜市泉区和泉中央南5-4-13

TEL:045-805-4000 FAX:045-805-4100

相鉄いずみ野線「いずみ中央駅」下車1分

神奈中バス「泉区総合庁舎前」下車3分

\*お客様専用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。  
\*内容・出演者が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
\*お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。  
\*公演中止の場合に、旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。

